

三遠南信サミット 2012 in 東三河 サミット宣言

San-En-Nanshin SUMMIT

第20回三遠南信サミット in 東三河では、「第20回記念サミット 三遠南信の歩みと未来～県境連携の先駆けとしての地域創造～」をテーマとし、「道」「技」「風土」「山・住」の各分科会において、基盤整備の進捗に伴う事業展開など具体的な事業に絞り、現状の課題や今後の展開に必要な取り組みについて議論をしました。

私たち三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、未来に向け、本日のサミットでの議論を踏まえ、次の事項に重点を置き、県境連携の先駆けとしての自負を胸に地域創造に邁進いたします。

- 1 三遠南信自動車道の一部供用開始に伴い、救急・防災体制の充実、産業・観光活動の活発化など効果が実感されています。早期全線開通への地域住民の期待は一層高まっており、現道活用区間の整備などミッシングリンクの解消が必要であることを確認しました。

圏域の一体的な発展のため、三遠南信自動車道の早期全線開通、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備、さらに、リニア中央新幹線の早期開業、三遠伊勢連絡道路の実現を目指し、三遠南信地域連携ビジョン推進会議を中心とし、地域一体となった提言活動等を進めます。

- 2 地域の強みである既存産業の高度化と産業基盤を活かした新産業の創出を目指すため、「三遠南信地域基本計画」や「地域イノベーション戦略推進事業（国際競争力強化地域）」による広域連携、産学官金連携をより一層強化し、オープン・イノベーションによる研究開発の促進、海外市場を意識した販路開拓、人材育成を推進します。

また、三遠南信地域内の大学連携に産官金との連携も加え、各界の代表者による議論の場を設けるなど、人材育成等について引き続き検討していきます。

- 3 「塩の道エコミュージアム」を構成する自然、歴史、文化、産物など地域資源の保全、発掘、活用事業に取り組む民間団体との連携を図るとともに、三遠南信地域の情報発信力を高め、地域固有の商品・サービスの提供により、三遠南信地域における持続的な観光客誘致を促進します。

- 4 中山間地域の生活環境の向上及び上下流域定住施策の推進のために必要な、人・ものの交流・連携を図るとともに、情報発信体制の整備を進めます。

また、安全・安心な地域の形成に向け、広域的また局地的に発生する地震や台風等の災害に対応するため、県境を越える防災体制の強化について相互連携して取り組み、防災力の向上を図ります。

- 5 三遠南信地域連携ビジョン推進会議の新・連携組織については、官民連携組織である現在の組織の体制強化を図るため、大学・住民団体など他団体との連携強化や平成28年度を目途とした広域連合設置に向けた検討を含め、専門委員会として設置した新・連携組織検討委員会において鋭意協議を進めます。

これらの取り組みを、ここに集うすべての主体が確認し、第20回三遠南信サミット2012 in 東三河のサミット宣言といたします。

平成24年10月2日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
三遠南信サミット2012 in 東三河